

福岡市市政記者各位
福岡市経済記者各位

商用製品で
政令市初!!

令和8年6月8日
環境局脱炭素事業推進課

「国産フィルム型ペロブスカイト太陽電池」 全国に先駆け、市有施設への実装!!

福岡市では、「2040年度 温室効果ガス排出量 実質ゼロ」のチャレンジ目標を掲げ、次世代太陽電池として注目されるペロブスカイト太陽電池の普及を進めています。

この度、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の商用化を受け、全国に先駆けて、商用製品の市有施設への設置を開始いたしますので、お知らせいたします。本取組みの周知のご協力をお願いいたします。

事業概要

・福岡市は環境省事業の採択を受け、市内小中学校3校の体育館屋根に、国産フィルム型ペロブスカイト太陽電池を設置します。商用製品としては政令市初の導入となります。

・軽量な特長を活かし、従来型太陽電池では設置が困難だった学校体育館にも設置できることとし、都市部における新たな創エネモデルの構築を目指します。

【効果】

- ✓ 従来型では設置が困難だった都市部における創エネ場所の拡大
- ✓ 温室効果ガス排出量実質ゼロの促進
- ✓ 児童・生徒の身近な場所への設置による環境教育・啓発
- ✓ 体育館の活用による、避難所機能の強化

設置イメージ①



設置イメージ②



※ 「ペロブスカイト太陽電池について」 及び「当事業の詳細について」は2面に記載しております。是非ご確認ください。

フィルム型ペロブスカイト太陽電池とは

薄型・軽量で、耐荷重の小さい屋根や壁面等への設置が可能であるとともに、国産が可能な次世代型太陽電池として、国においてもGX（グリーントランスフォーメーション）の牽引役として期待される技術。

積水ソーラーフィルム(株)が令和8年3月に商用化。

【ポイント】

- ◆ 薄型・軽量であるため、従来型太陽電池では設置できなかった場所に設置可能！
- ◆ 主原料となるヨウ素が日本国内にて調達可能！

事業詳細

《導入施設》

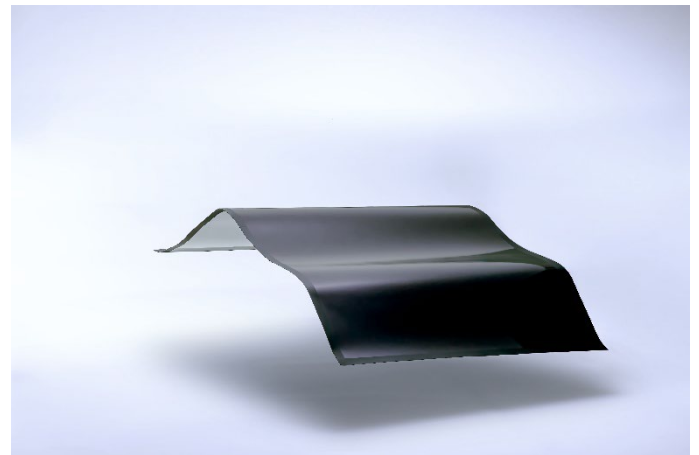
総容量：25.08kW

施設名	設置場所	導入容量	開始	設置完了
高宮中学校	体育館屋根	9.24kW	6月12日	7月下旬
老司小学校	体育館屋根	7.92kW	7月下旬	8月下旬
原西小学校	体育館屋根	7.92kW	8月下旬	9月下旬

※工事時期は、天候等工事の進行具合により前後する可能性があります。

《太陽電池》

積水ソーラーフィルム(株)製
フィルム型ペロブスカイト太陽電池



積水ソーラーフィルム（株）提供

《今後の予定》

高宮中学校の設置完了時には、見学会を開催予定です。（8月頃）
詳細が決定次第、お知らせいたします。

福岡市の「次世代型太陽電池」取組紹介はこちら

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/j-suishin/machi/pero-shokai.html>

